



夏の危険ポイントをチェックして楽しい夏を過ごそう！

梅雨が明けて暑さが本格的になるこれからの季節は、体が暑さに慣れておらず、屋内外での活動に伴う熱中症が多発する時期でもあります。熱中症を防ぐために次のような点に注意して、楽しい夏を過ごしましょう。

熱中症とは

炎天下の屋外や高温多湿の室内など、激しい暑さによる発汗によって体温調整が効かなくなり体内に熱がこもった状態のことをいいます。

気分が悪い、頭痛、吐き気、けいれんなどの症状がみられ、重症例では命を落とすこともあります。特に高齢者の方は、喉の渇きを敏感に感じるができないうえに、もともと水分を取らないので脱水傾向があり、さらにエアコンをつける習慣がない方も多いため、暑い室内や炎天下の農作業に注意してください。

これが危険！

- ▽炎天下のスポーツや農作業
- ▽睡眠や休憩を取らない
- ▽十分な水分を取らない
- ▽小さな子供を車内に放置する

熱中症の症状を疑ったときは

- ▽日陰や風通しの良いところ、冷房の効いたところへ移動し、衣服をゆるめて体を楽にしましょう。
- ▽スポーツドリンク等で水分補給しましょう（塩分や糖分は体内に吸収しやすいので水だけより効果的）。
- ▽氷や冷たい水で冷やしたタオルを脇の下や足の付け根にあて体を冷やしましょう（太い血管を冷やすことで体温を下げます）。

熱中症を疑う場合は、前述の応急処置をして早めに医療機関を受診してください。また、改善しなかったり、意識がなかったらすぐに救急車を呼びましょう。

— 普通救命講習会 —

日時 7月16日(土) 午前9時から
正午

場所 丹羽消防署 大口出張所
申込みおよび問合せ先
丹羽消防署本署

大口出張所
☎95-5151
☎95-0119



大口町の「平成26年度リサイクル率」が愛知県第1位に！

平成26年度一般廃棄物処理実態調査の結果、大口町は愛知県内の54市町村におけるリサイクル率で第1位となりました。これも住民の皆さまのご理解とご協力によるものです。

今後も引き続き、ごみの減量と資源の有効活用に積極的に取り組んでいただきますよう、よろしくお願ひいたします。

※リサイクル率とは、発生したすべてのごみ量の内、資源化されたごみ量の割合です。

問合せ先 環境経済課

☎95-1613

**ジュニアクイーンズカップ
レスリング選手権大会で優勝**



5月10日(火)、大口北小学校4年の北島沙季さんが、4月開催の平成28年度ジュニアクイーンズカップレスリング選手権大会小学3・4年24キロ級と5月開催の第22回東海少年少女レスリング選手権小学校3・4年女子26キロ級で優勝したことを町長に報告しました。

所属クラブで、兄とともにレスリングに励む沙季さん。練習は苦しいといながらも、7月開催の全国大会に向け、日々練習を続けていると笑顔で語ってくれました。

	平成26年度		平成25年度	
1位	大口町	38.2%	大口町	38.7%
2位	幸田町	33.3%	幸田町	36.9%
3位	田原市	30.8%	田原市	29.7%

出典：愛知県一般廃棄物処理事業実態調査